

4つの新たな

「みらいビジョン」



令和4年第2回市議会定例会で、小田川市長が今後のまちづくりについて、所信表明を行いました。ここでは、その発言の要旨をお伝えします。※内容は要約しています。



全文はこちら

(1) みらいにつなげる好循環なまち

まず、1つ目は「みらいにつなげる好循環なまち」です。現在も発展を続けている、つくばみらい市の勢いをさらに推し進めるためには、新たな人が移り住み、まちを人の賑わいで潤し、さらなるニーズに応えた新しい施策を、スピード感を持って実施する。そして、さらなる人を呼び込んでいく。このような好循環なスパイラルを形成していくまちを目指してまいります。

みらい平地区の人口は当初計画の1万6000人を超え、更なる人口の増加も見込まれております。一方で、既存地区では人口が減少し、賑わいが薄れつつあります。私は、賑わいを増しているみらい平地区のエネルギーを市内全域に波及させるため、新たな居住地域の確保に向け、積極的に検討します。

また、初めてPFIを活用し、既存地区へ子育て支援住宅を整備することで、均衡のとれた賑わいのあるまちを創出してまいります。福岡工業団地第2期地区の整備については、早期の事業完成を目指し、県が主体となることで、期間短縮など大きなメリットが図れることから、今回茨城県に行っていたいただきま

した。しかし、県主体の工業団地整備であっても、つくばみらい市がさらに発展していくため、県に対してもしっかりと意見を伝え、市民が求め、市が求める工業団地をつくりあげてまいります。スマートICについては、交通や物流の利便性が向上し、市の新たな魅力の創出に繋がるものと期待しております。また、地域活性化に繋げるためには、スマートIC本体整備と、その利便性を最大限に活かした周辺開発が重要であり、この場所を目的地として、スマートICを利用してもらえるような施設、多くの方につくばみらいへ行きたいと思っただけのような施設。このようなワクワク感がある、魅力あふれる周辺開発を進めてまいります。

全国的に農業従事者の高齢化が進み、その対策が急務となっております。私は、市内企業との連携により、新たに「スマート農業」や「農機シェアリング」を導入し、さらには市内農産物の付加価値の創出を図るなど、農業者人口のすそ野を広げる施策を展開してまいります。今後もしっかりと「みらい型農業」の推進を図ってまいります。

その取り組みのひとつとして、米コンテストに出品されたお米のうち、受賞米のほか、食味値が一定の

基準を超えたお米は、市が市場価格に支援金を上乗せして買い取る制度を新たに導入いたします。受賞米は市内消費者への申込販売を行うことで、市内流通の活性化を図り、併せてふるさと納税制度を活用し、全国にPRしながら、市内産米の市場拡大を図ってまいります。

「みらいにつなげる好循環なまち」を進めるためには、財源の確保が必要となります。

「ふるさと納税」は、令和3年度も多くの寄附がありました。今後返礼品となる地場産品の拡充に努め、様々な広告媒体を活用し、さらなる財源の確保に努めてまいります。

また、企業版ふるさと納税を活用した財源の確保なども進め、自治体マネジメントによる「稼ぐつくばみらい市」を推進してまいります。

(2) あれも、これも、本気の子育てのまち

2つ目は「あれも、これも」本気の子育てのまちです。

好循環なまちづくりの基本は、まさに人を呼び込むことです。特に子育て世代を中心とした、賑わいのあるまちづくりが重要であると考えています。

子育て施策については、必要な施

本日、令和4年第2回定例会の開会にあたりまして、私の市政に対する所信の一端を述べさせていただきます。

このたび、5月16日に初登壇し、市政運営の2期目がスタートとなりました。改めて課せられた使命と、その責任の重さを痛感しているところであり、決意を新たに課題の解決に全力を傾け、市政発展のため、まい進する所存であります。

私は、4年前の市長就任以来、市

民の皆様への負託にこたえるため市全体を考え、将来を見据え「市民によりそう市政」の実現に向け、6つのみらいビジョンを掲げ、スピード感を持って市政運営に取り組んでまいりました。

2期目の4年間では、新しいつくばみらい市を作り上げるために、「もっとみらいへ」を政策のテーマに掲げ、4つの新たな「みらいビジョン」のもと、つくばみらい市発展のため市政運営を進めてまいります。

私は、4年前の市長就任以来、市

策は「あれもこれも」と、人もお金も物も本気で投入する「本気の子育て」を目指してまいります。

その「本気の子育て」の中核を担う「おやこ・まるまるサポートセンター」では、引き続き妊娠から出産、子育てまで切れ目なくサポートする体制を築き上げてまいります。

さらに「子育て支援」と合わせ、子どもたちが健やかに成長していくためには、「子育て支援」が重要であると考えています。つくばみらい市で生まれ育った子どもたちが、自らしっかりと成長することができ、環境づくりを進めてまいります。

私は、子どもたちにより良い教育環境を提供するために、先生の働き方改革をまず進めなければならぬと思っております。そのために、先生の声を十分に聴き、必要であれば物も人も投資をしていきます。

それによって得られた先生たちの時間的余裕を、子どもたち一人ひとりと向き合う時間、教育環境を整える時間として活用し、子どもたちがより質の高い教育が受けられる教育改革を進めてまいります。

グローバル化に対応する教育を推進するため、小・中学校に配置しているALTや英語専科教員を増員し、英語教育の充実を進め引き続き、英語をしっかりと身に付けさせるた

めの教育に力を注いでまいります。

また、複雑化する現代社会においては、科学的思考力が必要と言われています。この科学的な思考能力を養う理数教育の充実を図り、次の時代を見据えた教育を進めてまいります。

つくばみらい市は、人口に占める子どもの割合が県内でもトップクラスです。その中心はみらい平地区であり、今後ますます児童生徒数が増加する事が見込まれます。

みらい平地区には、すでに小学校2校を新設しましたが、地区内に中学校が無いことから、早期に中学校が開校できるよう、準備を進めてまいります。

(3) 〳〵真ん中〳〵に 市民がいるまち

3つ目は「〳〵真ん中〳〵に市民がいるまち」です。

新型コロナウィルス感染症対策を進めている中で、現在の国の政策に限界を感じました。常に国は中心にあり、その外側に都道府県、そして市町村と連なり、市民は一番外側に追いやられていくように思えました。

地方分権が叫ばれている中で、国が全国一律で決めた政策を横並びで実施するのではなく、国の動きを待

たずに市民が求める政策をスピード感を持って行っていく。何事にも市民を中心に置いたまちづくりを目指してまいります。

私が市長に就任してから、市民とのミーティングを開催し、皆様からの様々なご意見を直接聴き、「市民に寄り添うまちづくり」を進めてまいりました。

さらに多くの市民の声を聴くために、地域の隅々にも出掛け、市民が求めるもの、必要としていることを一つひとつ拾いあげてまいります。

そのミーティングで地域の皆様の意見を十分に伺い、つくばみらい市として必要な政策であるならば率先して実施する、他自治体にも発信できる「つくばみらい発」の政策を展開してまいります。

また、小学校の統廃合により、コミュニティ拠点が無くなってしまった地域に対し、新たな地域コミュニティを創出することが必要であると考えております。市と市民が一緒になり課題を解決する、市民参加型のまちづくりを実現する体制整備も進めてまいります。

(4) 〳〵人に、社会に〳〵 やさしいまち

4つ目は、「〳〵人に、社会に〳〵やさ

しいまち」です。

これまで行ってきた公助につきましては、当然のことながらしっかりと行ってまいります。しかし公助だけでは全てが成しえるものではありません。公助と共に市民・地域・企業など、全ての人が一緒となり、ALFOR ALLで、人に、社会にやさしいまちを築いてまいります。

特に地域課題を解決していくためには、企業の協力も必要となります。企業が持つノウハウや最新の技術、サービスなどを活用するため、これまでも包括連携協定を結んでまいりました。今後もさまざまな課題解決のため、企業との積極的な連携を図り、協働のまちづくりを進めてまいります。

コロナ禍において、電子申請やキャッシュレス決済など、非接触型のサービスを活用する新たな生活様式の実現が求められています。新たに今年度、スマートフォンを購入する高齢者に対する助成を実施し、所持率の増加を目指してまいります。

また、購入したら終わりではなく、DX講習会の開催や、スマホ教室を拡充し、もっと便利に、もっと暮らしやすくなるよう、高齢者のDX社会の実現に向けた支援を進めてまいります。

「もっとうみらい」

以上、2期目にあたったの所信の一端を申し上げました。

今回の選挙は、無投票で当選の榮に浴することができました。

結果的には市民の皆様の声、投票という形で直接伺うことはできませんでしたが、市民の皆様の中には、厳しいご意見の声があったことも十分承知しております。

2期目の市政運営についても、そのような厳しいご意見にもしっかりと耳を傾け、さらなるまちづくりをまい進してまいります。

これからの地方自治体を取り巻く環境は、厳しさを増していくことが予想されます。しかし、その流れの中にあっても、10年、20年先を見据えていかなければなりません。

私は、つくばみらい市を思う情熱は、誰にも負けないと自負をしております。

このまちづくりに対する熱い思いを形にしていくなめには、昨日と同じ今日では、明日へは繋がらない。昨日よりもっと進んだ新しい今日へ、そして新しい明日へ。それが新しいみらい、「もっとみらいへ」に繋がっていく。そんなつくばみらい市にしていきたい。このような思いでまちづくりを進めてまいります。